

【相川地区】令和5年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時: 令和5年8月24日(木) 午後6時40分～午後7時40分  
 会 場: 相川公民館 1階集会室  
 参加者: 地区の自治会長(14名)、公民館地区館長、市長、副市長、教育長、政策部長、市長室長、地区市民センター所長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 持続可能な農業の促進について	
<p>【酒井宿自治会】                  ■学校給食費の無償化については、今、どういう段階なのでしょう。また、あつぎの農業を守っていくためにもJA等とタイアップして厚木の農産物をより多く、給食等に使っていただきたいと思っています。地産地消や農家の所得向上、農業振興が図られますので、よろしくをお願いします。</p>	<p>■学校給食費の無償化については、今、準備段階というなかで、更に給食を充実させていくためにはどのような内容が良いのかということも含めて、7月にアンケート調査を実施し、現在、取りまとめているところです。今後は、今年の12月に条例改正をし、来年の4月からの無償化に向けて準備を進めています。</p> <p>厚木の子どもたちが等しく制度を受けられるよう、市外の私立学校や養護学校等に通うお子さんについても、違った形で手当てをさせていただきたいと考えています。</p> <p>地場農産物の使用については、今年9月から、「あつぎ産米」を月に1回導入するほか、野菜についても使用回数を増やし、食育という面においても、子どもたちが厚木産のお米や野菜、果物を味わう機会を増やすことで、地場農産物への関心を高めていきます。</p> <p>そして、子どもたちが大きくなってからも、厚木産の地場農産物を安心して進んで買ってもらえるようになってほしいです。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 農業政策課、学校給食課)</p>
意見2 通学路の道路整備について	
<p>【上落合自治会】                  ■地域の見守り隊として、上落合から戸田小学校まで子どもたちの通学路を毎日一緒に歩いたところ、車がスピードを出して通過するのを身近に何度か経験しました。大人の目線では危険性が低く思えても、子どもたちの目線から見ると、危険を感じる場所や状況は変わってきます。子どもたちの安心・安全のために、通学路の整備や危険な箇所の安全対策について、市長の考えを伺いたいです。また、現在、相川地区で工事が行われている土地区画整理や第二東名の側道が開通されると、今後、今までより多くの車が通過することが想定されます。PTAやボランティア、見守り隊で見守ってはいますが、危険を感じる場所は何所もありません。市として、グリーンベルトやガードレールの設置など、いろいろな対策があると思うので、通学路の総点検を実施してほしいです。</p>	<p>■相川地区においては、どんどん発展し続けており、交通環境も変化していますので、それに応じた形で子どもたちの安心安全を守っていかなければならないと私も強く思っています。</p> <p>通学路の総点検については、大変重要であると考えております。これまで市内全域で行ってききましたが、今一度、総点検をしながらガードレールの設置等に取り組んでいきたいと思っております。また、子どもたちの目線に立った取組もさせていただきながら、危険箇所の対応をしていきます。</p> <p>千葉県八街市で通学中にトラックが突っ込んできた事故があり、そのときに全国的に通学路の総点検という指示が出たところです。この総点検は1回行えば良いということではなく、定期的に行わなければならないと思っておりますので、その際には、自治会やPTAの皆様方にも御協力をいただきながら、子どもたちにとって安全な環境を高めていけるように取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 交通安全課、道路維持課、学務課)</p>
意見3 コミュニティ交通の推進について	
<p>【下津古久自治会】                  ■先ほど市長からお話のあった高齢者の外出支援策は、かなちゃん手形購入助成やタクシー利用助成券の拡充ということで、大変期待をしています。また、コミュニティ交通は、荻野地区で実施されていると聞いております。荻野地区と相川地区とでは地形や人口などに違いはありますが、国道129号線から西側エリアには路線バスが走っておらず、買い物等に不便を感じています。コミュニティ交通の導入によって、バスルート以外の場所へ行けるようになれば、高齢者の交流の輪が広がるなど、健康寿命が増進し、公的な保険の負担も減ると思います。コミュニティ交通の現状と今後についてお聴かせください。</p>	<p>■コミュニティ交通の導入については、路線バスが利用しづらい地域、いわゆる公共交通不便地域の高齢化率や住宅の密度、スーパーや医療機関などの立地状況、地域移動ニーズなどを十分に把握した上で、定時定路線型やタクシー運賃助成など、その地域の特性に合った運行システムを検討していくこととしています。</p> <p>荻野地区においては、地域の皆様方が協力しながら独自でコミュニティ交通を運行しているところです。</p> <p>今後においても、地域に合ったコミュニティ交通を推進していかなければならないと思っておりますが、ここで、かなちゃん手形購入費助成やタクシーチケット助成を拡大しますので、まずは御利用いただき、御利用していただくなかで感想等を伺いながら検証し、改善につなげていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 地域包括ケア推進課、都市計画課)</p>

**意見4 スポーツの振興について**

**【酒井宿自治会】**

■市長は、スポーツ・文化芸術・歴史の聖地づくりを施策として掲げていますが、スポーツにおいて、人が集まる目玉的な施設がないと感じています。  
野球に関しては、市営球場・玉川球場がありますが、どちらも小規模ですので、現在の球場を改修するなどして高校野球の公式戦やプロ野球の2軍戦が可能な規格の野球場をつくっていただきたいです。

■私も高校野球の公式戦やプロ野球の試合ができる球場を作りたいという思いがあります。  
市営球場や玉川球場においては、改修をしても面積等の関係上、高校野球の公式戦等を行うことは難しい状況です。現在、飯山グラウンドにおいて球場等のスポーツ施設の整備に取り組んでいるところです。  
トッププレイヤーの選手が来ていただけるスポーツ施設を整備することは、市民の皆様方が厚木市を誇りに思ってもらえる機会につながると考えています。スポーツ関係の環境を整備するのは、私しかいないと思っていますので、整備について調査を進め、しっかりと取り組んでいきます。  
また、秋にはハンドボールのトッププレイヤーの方が荻野運動公園に来て試合をしていただく予定があります。PR等についても取り組みながら、スポーツを通じて街のにぎわいや活力につなげていきます。

(担当課:スポーツ推進課)